漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号 ◆ C 5 - 5 - 1 事業名 (11)学校就学環境整備事業

#### 事業概要

重茂小学校グラウンドは、東日本大震災後、グラウンドの大部分が仮設住宅(15戸)の用に供されたため狭隘となり、体育の授業を主に屋内運動場で実施するなどの制約を受けたことから、児童の体力低下を懸念し、至近の民有地を借用し仮設グラウンドを整備した。今次、その27年度分の用地賃借料および埋蔵文化財整理作業等に伴う費用を提出するもの。

グラウンドを解放するため、現在、漁業集落防災機能強化事業により、仮設住宅居住者に恒久 的な住環境を早期に提供できるよう取り組んでいるところである。

本事業は、漁集事業が完了し、グラウンド上の仮設住宅の撤去されるまでの間、児童の屋外活動の機会を確保するための仮設グラウンドを整備するものである。

平成24年度実績分 18,746,594円 (本工事費・用地費・調査費計)

平成25年度提出分 273,000円 (用地費) 平成26年度提出分 174,000円 (用地費)

今回提出(H27分) 1,497,000円(用地費、埋蔵文化財整理作業)

用地代 174,000円 整理作業委託料 750,000円 印刷製本費等 573,000円

<sup>※</sup> この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を 示す図面を添付してください。

## 参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号 ◆ C 5 - 7 - 1 事業名 (5)被災者のためのコミュニティ活動支援事業

事業概要 女遊戸地区集会施設整備事業

女遊戸地区は、市の北東部に位置し、ウニ・アワビを中心とした採貝藻漁業を営む地区である。東日本大震災大津波により、漁港や防潮堤にも大きな被害を受け、現在急ピッチで復旧整備が進んでいる。また、漁業集落防災機能強化事業を導入し、地区内の住宅再建者のための集落道整備を行っている。

津波により、同地区の地域コミュニティの場として活用していた、女遊戸漁村センター(宮古漁協所有)と女遊戸住宅集会所の2つの施設も消失し、現在同地区のコミュニティ維持が困難となっている。このことから、2つの施設の機能を集約したコミュニティ施設を早期に整備し、地域のまちづくりや地域の活性化の拠点とするものである。

今次、27年度に予定されている工事費等について提出するものである。

#### 当面の事業概要

#### <平成27年度>

建築工事 (木造平屋、延床面積135㎡)

監理業務 一式

備品購入 一式

#### (平成26年度)

工種	事	業 費	備考
造成工事費	6,	900千円	(消費税8%)
実施設計業務	3,	169千円	(消費税8%)
合 計	10,	069千円	(消費税8%)

## (今回提出) 平成27年度

7-1- 1-1-		(A. 1) - 1 - 1 A
建築工事	43,707千円	(消費税8%)
監理業務	1,387千円	(消費税8%)
備品購入	1,020千円	(消費税8%)
合計	46,114千円	(消費税8%)

# ※ 被災施設の従前規模・工事費等について

被災施設名	敷地面積 (㎡)	建物床面積 (m²)	工事費 (千円)	再築価格 (千円)	備考
女遊戸漁村センター	1, 940. 02	281. 50	25, 243	67,872 (H26.3単価)	S56年度完成 平屋建て (宮古漁協所有)
女遊戸住宅集会所	205. 78	69. 56	5, 954	<b>★</b> 16, 771	S45年度完成 平屋建て H5年度 増築

★図面等が無い為、漁村センターの㎡単価を参考に算出

<sup>※</sup> この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。